



日中国交正常化50周年記念

兵馬俑と 古代中国

～ 秦漢文明の遺産 ～

概要

2022年、日中国交正常化から50年となる節目の年に、死後の皇帝を守り続けてきた兵馬俑が来日し、古代中国の歴史に焦点をあてた展覧会が開催されます。

紀元前221年、秦の始皇帝が中国史上初めて統一王朝を打ち立て、その後、劉邦が創始した漢王朝は、中国古代における黄金時代に数えられています。本展では、秦漢両王朝の中心地域であった関中（現在の陝西省）の出土品を中心に、日本初公開となる国家一級文物（最高級の貴重文物を指す中国独自の区分）を含めた約200点を展観します。戦国時代の極小であった騎馬俑が、始皇帝陵では等身大の兵馬俑となり、漢代皇帝陵では再び小さな兵馬俑となる、そうした変遷と歴史の不思議を実際の遺物を通じてご覧いただけます。

見どころの兵馬俑の展示では、始皇帝陵の10体をはじめ、戦国時代、漢時代を含めた総計36体が一室に会します。また、景帝陽陵で発掘された動物の俑などもバラエティ豊かに隊列展示します。

この展覧会の見どころ

◎兵馬俑 計 36 体を過去最大級のスケールでおとどけ！

1974 年、西安郊外の秦始皇帝陵墓付近で発掘されたのはおびただしい数の、一体一体違う顔をした等身大の人物像。本展では、この歴史的な発見により世界的に有名となった始皇帝の遺物をはじめ、戦国、漢時代を含めた総計 36 体の兵馬俑が一堂に会します。

注目の文物は…

数多くの兵士や馬の俑が埋蔵される始皇帝陵の兵馬俑坑で、かつて 11 体しか確認されていない希少な將軍俑から、日本初公開となる 1 体を展示します。



図1 《戦服將軍俑》統一秦 秦始皇帝博物院 一級文物

◎日本初公開&国宝級を含む約 200 点の文物を展示



図2 《中滋青銅鼎》春秋秦 永寿県博物館

中国の陝西省文物局の全面的な協力を得て、同地の出土品を中心とする約 200 点(兵馬俑 36 点含む)を展示します。国家一級文物から、最新の発掘調査による出土品まで、日本初公開を含む貴重な文物をご覧ください。

注目の文物は…

選り抜きの名品がそろった青銅器。なかでも、36 年ぶりに来日する、漢の武帝が作らせたと伝わる秘宝・鎏金青銅馬が見逃せません。



図3 《鎏金青銅馬》前漢 茂陵博物館

◎千年にわたる歴史のドラマを追体験！

群雄割拠の春秋戦国時代、わずか数十年の間に絶大な国力を示した統一秦時代、そして古代中国の黄金時代の1つを築いた漢時代・・・周王朝の遷都（紀元前 770 年）から、漢王朝の崩壊（220 年）まで、約 1,000 年に渡る時代のドラマが、貴重な文物の数々から蘇ります。



図4 《2号銅車馬》【展示は複製品】統一秦 秦始皇帝陵博物院



図5 《騎馬俑》戦国秦 咸陽市文物考古研究所

注目の文物は…

始皇帝の時代に等身大の姿になった兵馬俑ですが、戦国時代や漢時代の小さな姿にも、当時の習俗が観察できます。

展示の構成

第1章 統一前夜の秦～西戎から中華へ

紀元前 770 年、洛陽に遷都した周王朝の権威が次第に失われると、有力な諸侯による七国一斉、楚、魏、燕、韓、趙、秦一が各地で独立し、しのぎを削るようになります。この群雄割拠の世が約 550 年続き、のちに春秋戦国時代と言われました。本章では、西方の小国だった秦が中華を統一するまでの道筋を辿ります。



図6 《彩色双耳陶壺》春秋秦 隴県博物館

第2章 統一王朝の誕生～始皇帝の時代

紀元前 221 年、秦の^{えいせい}嬴政は、史上初めて中国大陸統一を果たすと、それまでの最高の地位であった「王」を超える称号として、新たに「皇帝」を名乗り、「始皇帝」となりました。

秦王朝はわずか十数年のうちに滅亡しましたが、始皇帝陵に眠る等身大の兵馬俑や、万里の長城といった遺物が今日の我々に古代のすがたを垣間見せてくれます。本章では、これら前代未聞の文物や建造物を生み出した、始皇帝という偉大な権力者とその時代に迫ります。



図7 《戦車馬》 統一秦 秦始皇帝陵博物院 一級文物

第3章 漢王朝の繁栄～劉邦から武帝まで



紀元前 202 年、西楚の項羽を破った漢の劉邦が再び中華を統一。漢は、かつての秦の旧都・咸陽の上に長安城を立て、行政においても秦の制度を引き継ぐことで、古代中国における一つの黄金時代を築き上げます。

西暦 8 年の^{おうもつ}王莽による政権奪取と新の樹立という中断がありつつも、25 年には光武帝が漢王朝を再興します（後漢）。本章では、後漢滅亡までの、およそ 400 年におよぶ壮大な漢王朝の繁栄の秘密を紐解きます。



(左)図8 《彩色歩兵俑》 前漢 咸陽博物院

(右)図9 《「王」精 龜鈕金印》 漢 西安博物院 一級文物

基本情報

展覧会名 兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～

会 期 2022(令和4)年6月18日(土)～8月28日(日)



図10 《金虎》春秋秦 宝鸡市陳倉区博物館 一級文物

会 場 静岡県立美術館 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田53-2

- 交通案内
- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分。
 - ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分。
 - ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分。
 - ・静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分。
 - ・東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分。日本平久能山スマートICから車で約15分
または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分。
-

開館時間 午前10時～午後5時30分（展示室への入室は午後5時まで）

夜間開館 8月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
午前10時～午後7時（展示室への入室は午後6時30分まで）

休 館 日 月曜休館、ただし7月18日(月・祝)は開館し、翌日休館。8月15日(月)は開館。

一般1,500円(1,300円) 70歳以上、大学・高校生 800円(700円) 中学生以下 無料

観 覧 料 ※ () 内は前売・20名以上の団体料金 ※収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。



図11 《子豚陶俑》前漢 漢景帝陽陵博物院

主催 静岡県立美術館、テレビ静岡、中日新聞東海本社、陝西省文物局、
陝西歴史博物館(陝西省文物交流中心)、秦始皇帝陵博物院

後援 外務省、中国大使館、公益社団法人日本中国友好協会

協賛 DNP 大日本印刷

静岡展特別協賛 セキスイハイム東海

協力 一般財団法人日本中国文化交流協会、東海大学情報技術センター

監修 鶴間 和幸 (学習院大学名誉教授)



図12 《彩色騎馬俑》前漢 咸陽博物院

会期中イベント

特別講演会「兵馬俑と古代中国の歴史」

日時：6月25日(土) 14:00~15:30

講師：鶴間和幸氏(学習院大学名誉教授・本展監修者)

会場：当館講堂 要申込・定員80名程度・参加無料・要観覧券(半券可)

館長美術講座「兵馬俑と壺輪ひとがたと人形の話」

日時：7月10日(日) 14:00~15:30

講師：木下直之(当館館長)

会場：当館講堂

要申込・先着80名程度・参加無料・要観覧券(半券可)

学芸員によるスライドトーク

当館学芸員が本展の見どころを紹介します。

日時：7月2日(土)、23日(土) 各日14:00~ 40分程度

会場：当館講堂

申込不要・先着80名程度・参加無料・要観覧券(半券可)

実技講座 切り絵

日時：7月30日(土)、31日(日)

講師：福井利佐氏(切り絵アーティスト)

会場：当館実技室

対象：中学生以上の個人

要申込



図13 《鎧甲軍吏俑》統一秦 秦始皇帝陵博物院 一級文物

ちよこつと体験「シルクスクリーン」

日時：8月10日（水）～14日（日） 10:00～12:00、13:00～15:30

会場：当館エントランスホール

対象：どなたでも

申込不要

夏休み子どもワークショップ

日時：8月20日（土）、21日（日） 各日 10:00～16:30

講師：堀園実氏(美術家)

会場：当館美技室

対象：小学生

要申込

*内容・開催方法の変更や中止の可能性あります。



図14 《家畜犬陶俑》前漢 漢景帝陽陵博物院



図16 《立射武士俑》統一秦 秦始皇帝陵博物院
一級文物



図15 《青銅長劍》秦 秦始皇帝陵博物院 一級文物



図17 《鎧甲武士俑》統一秦 秦始皇帝陵博物院
一級文物



図19 《彩色騎馬俑》前漢 漢景帝陽陵博物院



図18 《鎧甲騎兵俑》統一秦 秦始皇帝陵博物院
一級文物

兵馬俑と古代中国展

宛先：静岡県立美術館 (広報担当) 学芸課 植松・貴家 / 総務課 大石 宛

E-mail : webmasterspmoa@spmoa.shizuoka.shizuoka.jp

- 本プレスリリースに掲載されている図1～図19を広報用画像としてご提供します。
本票に必要事項をご記入のうえ、上記メールアドレス宛に本票を添付してお申し込みください。

【画像ご使用に際してのお願い】

- * 画像データはメールにてお送りします。
- * 画像は本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 使用後のデータは破棄していただきますようお願いいたします。
- * 画像への文字載せ、トリミングをする際はご相談ください。
- * クレジットを必ず明記してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当者まで見本紙・誌を1部ご寄贈くださいますようお願いいたします。

貴社名： _____ 媒体名： _____

ご担当者名： _____ 発行・放送予定日： _____

TEL： _____ 発行部数： _____

FAX： _____ 定価： _____

E-mail： _____ 掲載予定コーナー名等： _____

URL(ウェブの場合)： _____

希望する広報用画像： _____

連絡欄： _____

◎本展を紹介してくださる媒体には、展覧会の招待券（5組10名様）を読者プレゼント用に提供いたします。
ご希望の方は下記にご記入ください。

読者プレゼント用招待券を 【希望する・しない】

招待券送付先 【住所：〒 _____】

【このプレスリリースに関するお問い合わせ先】

静岡県立美術館 担当：学芸課 植松・貴家 / 総務課 大石

住所 〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53-2

TEL 054-263-5857 FAX 054-263-5742